



園だより 6月号

「めぐみのとき」

芝浦アイランドこども園  
平成29年6月1日発行

急に夏の暑さになったかと思うと、雨で冷えこんだりとこれから梅雨の季節が始まります。子どもたちは、2ヶ月を経て友だち関係がそれぞれに広がり、園庭を所狭しと走り、スピード感が増してきました。

5歳児の一段と逞しいグループの鬼ごっこの中で、気になる会話が聞こえてきました。男の子が大きな声で「待てよ、今オレが鬼」、「ちがうよ、オレが鬼だよ」、「オレだろ」と何故か「オレ」のことばがやけに耳に入ってきました。確かに去年の5歳児さんも使っていたな、もうそんな時期がきたのか、早いのでは、と思うのは、縦にも横にも大きくなってきたけど、まだまだかわいい男の子という印象のままです。少し前まで「ぼくね、・・・」といていたのに「ぼく」が「オレ」に変化。なんだか乱暴に聞こえるけど、強くなったみたいにも聞こえるし、大きくなったよね。こども園の最年長なんだもんね。

かつて読んだ本の中で、「幼児期の“オレ”ということばを乱暴だと決めつけることは、不必要である。熱が冷めれば“ぼく”に戻ります」という文章を思い出しました。そこには、「オレ」だけでなく、テレビや周りの人のへんなことばを仕入れ、しっかり覚えてくるのがあっても敢えて叱らず、強く嫌がることなく正しい日本語を周りの大人が使っていくことが大事であると述べていました。正しい・きれいな日本語を子どもたちに教えていくのは、私たち大人の役目とまた強く感じました。

(園長 宇野 雪枝)



### こども園の教育・保育

このところ文部科学省が「アクティブ・ラーニング」(能動的な学習)を強く推進する傾向にあります。アクティブ・ラーニングは、大人からの一方的な伝達ではなく、子どもが主体的に参加し、対話、協働することで、深く考え、探求し課題を解決していく学び方になります。

こども園でも、年齢とともに少しずつ話し合う場面を設けていきます。その中で、自分の思ったことや考えたことを“ことば”で伝える経験、みんなに聞いてもらう経験(積み重ねていく中で自尊心が培われます)をしていきます。話し合いの中で、友だちの“ことば”を聞くことで相手の気持ちに共感していくという気持ちが育ち、ものごとを深く考え、違った考えも受け入れたり、折り合いをつけていくことを学んでいきます。



### ◇ 今月の教育・保育目標 ◇

- 0歳児 : 一人ひとりの生活リズムが安定し、落ち着いて一日を過ごす  
戸外に出て自然を感じて過ごす
- 1歳児 : 気持ちの良い天候の中で、のびのびと体を動かす  
保育者に手伝ってもらいながら、簡単な身の回りのことをやってみようとする
- 2歳児 : 戸外遊びを積極的にし、保育者や他児と身体を使って遊ぶ  
身の回りのことを保育者としてみたり、自分でしてみようとしたりする
- 3歳児 : 植物のお世話を通して、成長に興味を持つ  
保育者や友だちに親しみを感じ、自分の気持ちを言葉で伝えてみようとする
- 4歳児 : 遊びの中で、自分の思いを伝えるなどして、友だちとの関わりを楽しむ  
砂や土・水の感触を楽しみながら開放感を味わう
- 5歳児 : 気の合う友達と、目的をもちながら遊びを楽しむ  
様々な活動に興味を持ち、意欲的に参加する
- 一時保育 : 自然や生き物に興味・関心を持ち、見たり触れたりする  
保育者や友だちと一緒に遊ぶ楽しさを感じる

### 6月の行事予定

- 1日(木) 安全指導
- 2日(金) 4・5歳児遠足
- 7日(水) 5歳児キャンプ説明会
- 15日(木) コーヒーやさん
- 16日(金) 5歳児英語
- 20日(火) 消火避難訓練・体力向上5歳児
- 22日(木) 誕生会
- 23日(金) 4歳児英語
- 26日(月) 高齢者交流(5歳児)
- 27日(火) 体力向上4歳児
- 29日(木) 歯科健診



**ほっとするコーヒーやさん**  
6月15日(木) 16:30~19:00  
2F7レコナで  
お待ちしております!参加無料!

- 1歳児個人面談  
1日(木)~2日(金)
- 2歳児個人面談  
5日(月)~9日(金)
- ふらみんご・はくちょう保育参加  
12日(月)~16日(金)
- つる・こうのとり保育参加  
19日(月)~23日(金)

- 内科健診 14日(水) 0.1歳児  
28日(水) 0.2歳児
- 身体測定 5日(月) 0~2歳児  
6日(火) 3~5歳児

- 14日・28日(水) 園庭開放
- 15日(木) こども園で遊ぼう



先月は、小笠原悠衣先生によるピアノコンサートを行いました。

第1部は、0歳児~2歳児、一時保育、地域親子、第2部は、3歳児~5歳児の参加でした。

去年の記憶がある幼児さんが、「先生のドレスは何色かな?」と話題にしている中で、先生が華やかなプリンセスを思わせるブルーのドレス姿で現れると子どもたちの目はキラキラと輝き、ピアノに座る先生に惹きつけられました。演奏が始まり、「さんぽ」や童謡で楽しく拍手や体を揺らし拍子をとりながら歌い、「アナと雪の女王」の演奏が始まると、どこからともなく「アナ雪だ」といろいろなところから喜びの声が上がり、気持ちのままに歌う姿が多くみられました。

ノリに乗った子どもたち、トルコ行進曲では、激しく頭をゆらしたり、体を揺らしたりと楽しさを全身で表していました。その後も、「にじ」や「スマイル」、アンコール曲では、「世界中のこどもたちが」、「小さな世界」と大きな歌声が響きわたり、楽しいひと時を過ごすことができました。

